一．次の傍線部の意味を考え、訳の空欄を埋めなさい。

1　昔、惟喬（これたか）の親王（みこ）と申す親王おはしましけり。
【訳】昔、惟喬の親王と申し上げる親王が〔　　〕。

2　御身に馴れたるものどもをつかはす。
【訳】（源氏は）着慣れた衣服などを（明石の君に）〔　　〕。

3　われながら心おごりせられしとのたまふなる。
【訳】われながらつい得意になってしまったと〔　　〕たということだ。

4　急ぎ参らせて御覧ずるに、めづらかなる児（ちご）の御かたちなり。
【訳】（帝が）急いで参内させて〔　　〕と、めったにないほどの美しい皇子の御容貌である。

5　昔、二条の后に仕うまつる男ありけり。
【訳】昔、二条の后に〔　　〕男がいた。

6　憶良（おくら）らは今はまからむ子泣くらむ
【訳】憶良めはもう〔　　〕よう。子供が泣いているだろう。

二．次の傍線部の意味を考え、訳の空欄に入る適切なものを選んで記号で答えなさい。

1　大君は千歳にませむ白雲も三船の山に絶ゆる日あらめや
【訳】大君は千年でも〔　　〕だろう。白雲だって三船の山に途絶える日などないのだから。
〈ア．お治めになる　イ．いらっしゃる　ウ．おやすみになる　エ．うかがう〉

2　帝、なほめでたくおぼしめさるること、せき止めがたし。
【訳】帝は、やはりすばらしい（女性だ）と〔　　〕ことを、止めることができない。
〈ア．ご覧になる　イ．お聞きになる　ウ．おっしゃる　エ．お思いになる〉

3　紫式部を召して、「何をか参らすべき。」と仰せられけり。
【訳】紫式部を〔　　〕て、「何を差し上げるのがよいか。」とおっしゃった。
〈ア．おやりになっ　イ．ご覧になっ　ウ．お連れになっ　エ．お呼びになっ〉

4　御はかし、しばし貸したまはらむ。
【訳】お刀を、しばらく〔　　〕。
〈ア．貸すだろうか　イ．お貸しにならないだろうか　ウ．貸していただけないでしょうか　エ．貸しましょうか〉

5　泉の大将、故左の大殿にまうで給へりけり。
【訳】泉の大将は、今は亡き左大臣邸に〔　　〕。
〈ア．退出なさった　イ．参上なさった　ウ．おやりになった　エ．いらっしゃった〉

6　今宵うけたまはる物の音どもの、みな等しく耳驚きはべるは、
【訳】今夜〔　　〕いろいろな楽器の音が、みな等しく耳を驚かすばかりですのは、
〈ア．お聞きする　イ．お召しになる　ウ．お弾きになる　エ．差し上げる〉

7　義景は、切戸の脇にかしこまりてぞ侍りける。
【訳】義景は、切戸のそばで謹んで〔　　〕。
〈ア．参上した　イ．お聞きした　ウ．控えていた　エ．申し上げた〉

三．次の単語の意味を考え、空欄を埋めなさい。

1　たまはす
　①本動［　　］
2　おほとのごもる
　①本動［　　］
3　まゐる〈尊敬〉
　①本動　召し上がる
　②本動（体言＋まゐる）［　　］
4　たてまつる〈尊敬〉
　①本動　お召しになる・召し上がる
　②本動［　　］
5　まうす
　①本動［　　］
　②補動　…申し上げる・…して差し上げる

四．次の単語の意味を考え、空欄に入る適切なものを選んで記号で答えなさい。

1　しろ（ら）しめす　しらす
　①本動　ご存じである
　②本動［　　］
　〈ア．ご覧になる　イ．おっしゃる　ウ．お治めになる　エ．おやすみになる〉
2　きこしめす
　①本動　お聞きになる
　②本動［　　］
　〈ア．ご存じである　イ．お呼びになる　ウ．召し上がる　エ．ご覧になる〉

五．次の傍線部を現代語訳しなさい。

1　〈女院は〉みづから御返事あそばされけり。

2　かくのたまふを、いと幸ひありと思ひたまふるを、

六．次の傍線部の敬語の種類は、A「尊敬」・B「謙譲」・C「丁寧」のうちどれか。記号で答えなさい。

1　この暁より、咳病（しはぶきやみ）にやはべらん、頭いと痛くて苦しくはべり。　［　　］

七．次の傍線部の敬語の敬意の対象を答えなさい。

1　右大臣にておはしける人の、御一人女（むすめ）「『内（うち）裏に奉らむ』と思へど、我なからむ世など、うしろめたなし。（中略）」とのたまふ。　［　　］

一.
1 いらっしゃった
2 お与えになる（お贈りになる）
3 おっしゃっ
4 ご覧になる
5 お仕えする
6 退出し

二.
1 イ
2 エ
3 エ
4 ウ
5 イ
6 ア
7 ウ

三.
1 お与えになる（くださる）
2 おやすみになる
3 …なさる
4 お乗りになる
5 申し上げる

四.
1 ウ
2 ウ

五.
1 なさった
2 思います

六.
1 C

七.
1 内裏